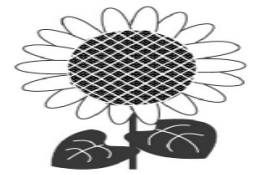


江波山かげに



誇りあり 歓喜あり のぞみあり 平成19年7月18日 文責：水戸

《PTAバレーボールを観戦して》

7月8日(日)中区西部地区PTAバレーボール大会が広瀬小学校体育館で開催されました。江波小チームは予選リーグで敗退。決勝トーナメントに進むことは出来ませんでした。その戦いぶり、チームワークの良さは大いに称賛されてよいものでした。点を取られてもしょげたりしない。一途に、みんなでボールを追う。最後まであきらめない。全員が力を出し切っている。声を掛け合い明るくコートを走り回る姿は相手チームを圧倒していました。さわやかな感動を見るものに与えてくれました。このようなお母さんたちの姿を、多くの子どもたちに見せてやることができたらと惜しく思われました。

《情緒が浅くなった》【人を愛したり、信じたりすれば・・・】

「今の若い人を見ていると情緒が浅くなったと感じる。」という言葉に出会いました。劇作家、つかこうへいさんの言葉です。(7月16日毎日新聞コラム【学校と私】)「子どもが読む漫画もケータイ小説も『コノヤロー』の次がすぐ『ぶっ殺す』だ。本当はその間にいろいろ葛藤があるわけじゃないか。それがなくて突発的な行動に走る。人を信じたり、愛したりすれば取り残されてしまう。信じるのが、最もみじめな勇気を必要とする時代になってきたよね。」

今、しばしば起きているまさに突発的、衝動的な事件を思うとき、また子どもたちが巻き込まれる事件を思うとき、社会全体に確かに情緒が浅くなって来ていることを痛感します。それは、思いやりや愛情の希薄な社会です。情緒の浅い社会で生活することの恐ろしさを感じます。

情緒が浅くなることを一番心配しなければならないのは、私たち大人なのでしょう。「人を信じたり、愛したりすれば取り残されてしまう。」と社会生活を営みながら肌で感じているのは、私たち大人であるからです。情緒を浅くした大人達が、若者の情緒を浅くし、子ども達の情緒をさらに浅くするという悲劇が始まっているのでしょうか。

《夏休みには》早ね・早起き・元気なあいさつ・朝ごはん

家族にはそれぞれ生活の事情があり、仕事も様々ですが、子ども達が将来、社会生活に適應するための準備をしてやることはすべての大人達が担う責任です。その準備の第1段階が基本的な生活習慣の形成です。基本的な生活習慣が形成されれば、心身が活性化し、学習への構えも、外に向かう意欲も、友だちとの関わりも確かなものになります。

先日給食試食会を行いました。1年生の保護者29名の方にご参加いただきました。どなたも給食を高く評価してくださり、家庭においても栄養のバランスを考えて食事を工夫したいという意欲的な感想をたくさんいただきました。夏休みを、食事を話題にし、親子の会話を増やす良い機会としてください。一工夫が心も体も育てます。

《PTAの学習会・全員参加を目指して》

今年度は、全員参加を目指して、年間の学習会を年度初めに紹介し、参加希望のアンケートを採るなど意欲的な活動を展開されています。江波小学校PTA執行部の積極的な姿勢とそれに応ずる会員の皆様の熱意を強く感じます。

今月26日(木)には「えばママschool 夏」が開講されます。既にご存じのようにここでは、本校の須本(養護教諭)と秋政(栄養専門員)が話をいたします。

8月31日(金)には、学校保健委員会を開催しますが、これにも多数ご参加いただきます。様々な研修の場に出会いと交流があります。一人一人が、PTAの会員でよかったと思える1年を自分で創り上げていただきたいと思います。

～他人の子ども我が子と思い愛の一声～

《教育相談会を行います・子どもたちに寄り添い、未来を描く》

すでにお知らせしておりますように7月23日(月)、24日(火)両日、教育相談会を行います。多数の懇談希望をいただいています。子ども達の7月までの学習・生活の様子や一人一人の振り返りなどをもとに、がんばっている点・成果、夏休みの過ごし方などについて、ご家庭での様子なども伺いながら教育相談をすすめていきます。担任と保護者とが共に子どもに寄り添い、共に子どもの「明日」を描いていけるような場にしていきたいと考えています。

4月の学級開きから現在まで、4ヶ月足らずですが、子どもたちは大きな変化・成長を見せています。学級への帰属意識や学年としての一体感も高まりつつあります。しかしながらまだまだ十分とは言えません。まだ一学期の途中ですから、休み前の学級指導や教育相談会、サマースクールなどを通じて夏休みに規則正しい生活ができ、学力の充実が図れるよう働きかけていきたいと思ひます。



7月の詩

自分の感受性くらい

茨木のり子

ばさばさに乾いてゆく心を

ひとのせいにはするな

みずから水やりを怠つておいて

気難しくなつてきたのを

友人のせいにはするな

しなやかさを失つたのはどちらなのか

苛立つのを

近親のせいにはするな

なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを

暮らしのせいにはするな

そもそもが ひよわな志にすぎなかつた

駄目なことの一切を

時代のせいにはするな

わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい

自分で守れ

ばかものよ